



釧路森林資源活用円卓会議 プレスリリース 平成 26 年 10 月 6 日

<事務局> 釧路市産業振興部農林課
085-0805
釧路市黒金町 7 丁目 5
<http://www.city.kushiro.lg.jp/sangyou/nourin/ringyou/tiiki/cat00000886.html>

くしろ「木づな」プロジェクト

松前中学校の学習机に釧路の技術が使われています。

【概要】

平成 26 年 8 月 29 日に松前中学校の第一期工事（校舎・体育館・音楽室・武道館）が完了しました。この教室で使われている机の道南スギの天板は、くしろ「木づな」プロジェクトで検討され、釧路市内の小学校でも使用している FRP 加工が施されています。



【実施内容】

松前中学校は、町有林の道南スギを伐採して、松前町内の製材工場等に運ばれて製材や集成材に加工、それを建築用材として建設するなど、「地材地消」のモデルとして非常に高いレベルで実施しています。そのうち、学習机を傷がつかないようにする塗装が難しいことから、今回、その部分に釧路の技術を使って実施することとなりました。

松前町から送られてきた、道南スギのラミナ（集成材を構成するひき板（のこぎりで製材された板状の材）や小角材）を厚岸木材工業協同組合に運び集成材にし、それを釧路建具家具生産協同組合と丸善木材(株)が加工・塗装しました。この塗装が「くしろ「木づな」プロジェクト」で検討された「FRP 加工」です。



耐久性が求められる学校用机ですが、船やサーフボードに使われている繊維強化プラスチック（FRP）塗装を施し、きれいな木目を生かしつつ表面を硬くすることができます。これにより、通常使用では傷が付きにくくなります。

釧路森林資源活用円卓会議では、これらの技術を普及し、各地域における地材地消を、「木づな」の力で支援していきたいと考えています。

<釧路森林資源活用円卓会議>

釧路市は、平成 17 年の 3 市町合併により、森林面積は約 10 万 ha（全道の市で 1 位）。まさに釧路市は「森林都市」。

「釧路市有林をはじめとした釧路市内の森林資源の活用策を検討」するため、釧路の木を取り巻く様々な関係者が参画する「釧路森林資源活用円卓会議」を平成 22 年 11 月設置しました。

これまで、地域材利用拡大にあたり、その課題解決のため「くしろ木づなプロジェクト」を実施しています。

釧路市産業振興部産業推進室

（担当）佐藤 圭

TEL : 0154-31-4550

FAX : 0154-22-8972